

障がい者施策とSDGsに関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
障がい福祉課	2022年08月31日から 2022年09月19日まで	1386	941	67%

今回は、障がい福祉課、企画課からのアンケートです。

はじめに、障がい福祉課からお聞きします。

県では、障がいの有無によって分け隔てられることのない共生社会づくりをめざし、「みえ障がい者共生社会づくりプラン」を策定し、計画的に取り組を進めています。そのための基礎資料として、障がい者施策に関するアンケートを行います。

つぎに、企画課からお聞きします。

SDGsの認知度についてアンケートを行い、今後のSDGs推進の参考とします。

■ Q1 障がいの理解について

あなたは、障がいについて、どの程度理解していますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	941	
障がいの種類や程度などを人に説明できる	173	18.4%
言葉の意味はわかるが、詳しい内容は知らない	651	69.2%
言葉を聞いたことがあるだけで、あまりわからない	98	10.4%
わからない	10	1.1%
その他	9	1.0%

■ Q2 障がいを知る機会について

あなたは、障がいや障がい者について、どこかで学んだり、聞いたりしたことはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	941	
家庭	251	26.7%
地域	207	22.0%
学校	345	36.7%
職場	375	39.9%
テレビ・新聞・雑誌	560	59.5%
インターネット	298	31.7%

県や市町のパンフレットやホームページなど	162	17.2%
その他	33	3.5%
わからない	24	2.6%
学んだり、聞いたりしたことはない	46	4.9%

■ Q3 障がい者との関わりについて

あなたは、現在、どのような場面で障がい者と関わり（関係を持ったり、つながりがあったりすること）がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	941	
家庭	126	13.4%
親戚	133	14.1%
友人・知人	162	17.2%
地域	172	18.3%
職場	334	35.5%
仕事先等（職場以外）	90	9.6%
その他	33	3.5%
わからない	18	1.9%
関わりはない	261	27.7%

■ Q4 障がい者に対する差別・偏見について

あなたは、障がい者に対して差別や偏見の意識を持ったことがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	941	
現在も持っていると思う	31	3.3%
そういう意識がないとは言えない	373	39.6%
過去に思ったことがあるが、今は持っていない	244	25.9%
そのような意識は持ったことがない	244	25.9%
その他	11	1.2%
わからない	38	4.0%

■ Q5 障がい者への差別・偏見のない社会について

あなたは、障がいのある人に対する差別や偏見のない社会になっていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	941	
そう思う	39	4.1%
どちらかといえば、そう思う	233	24.8%
どちらかといえば、そう思わない	406	43.1%
そう思わない	220	23.4%
わからない	43	4.6%

■ Q6 障がい者への差別・偏見を感じる場面について

Q5で「どちらかといえば、そう思わない」または「そう思わない」と回答された人にお聞きします。あなたは、社会のどのような場面において差別や偏見が残っていると感じますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	626	
親戚つきあい	77	12.3%
近所つきあい、地域活動	189	30.2%
店舗（接客対応・態度・建物）	247	39.5%
教育関係（学校・同級生・保護者等）	278	44.4%
就労関係（待遇・労働条件等）	449	71.7%
公共施設（建物・道路・交通機関等）	275	43.9%
その他	20	3.2%
わからない	30	4.8%

■ Q7 障がい者に対する理解について

あなたは、以前に比べて障がい者に対する理解が進んでいると感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	941	
感じる	148	15.7%
どちらかといえば感じる	612	65.0%
どちらかといえば感じない	86	9.1%
感じない	40	4.3%
わからない	55	5.8%

■ Q8 障害者差別解消法の改正について

令和3年6月、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（以下「障害者差別解消法」といいます。）が改正、公布されました。公布から3年を超えない時期に施行されますが、施行後は、事業者は障がい者から何らかの配慮を求められた場合は、過重な負担がない範囲で社会的障壁を取り除くために必要かつ合理的な

配慮（合理的配慮）を行うことが義務となります。（現在は努力義務（公的機関は義務）です。）
 障害者差別解消法が改正されたことを知っていましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	941	
改正内容を含めて知っていた	113	12.0%
内容は知らないが、改正されたことは知っていた	140	14.9%
知らなかった	670	71.2%
わからない	18	1.9%

■ Q9 障がい者の芸術文化活動について

三重県では「三重県障がい者芸術文化活動支援センター」を設置し、「三重県障がい者芸術文化祭」を開催するなど、障がい者の芸術文化活動を推進しています。

障がい者芸術の展示会が開催されていたら鑑賞に行きたいと思いませんか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	941	
鑑賞に行きたい	77	8.2%
外出先で開催されていたら鑑賞したい	408	43.4%
鑑賞に行きたいとは思わない	154	16.4%
どちらともいえない	231	24.5%
その他	26	2.8%
わからない	45	4.8%

■ Q10 障がい者の施策推進について

障がい者に関する県の施策のうち、あなたが最も力を入れる必要があると思う分野は何ですか。あてはまるものを5つまで選んでください。

合計	941	
障がい者に対する理解を深めるための啓発・広報活動の推進	319	33.9%
障がい者を理由とする差別の解消、障がい者の権利擁護	308	32.7%
点字や手話など意思疎通のための手段による情報保障	282	30.0%
建物・交通機関等の整備促進	518	55.0%
障がいのある子どもの相談・支援体制や教育の充実	504	53.6%

障がいに応じた職業訓練や障がい者雇用の充実	496	52.7%
障がい者に係る在宅福祉サービスの充実	252	26.8%
障がい者に係る施設サービスの充実	240	25.5%
障がい者に対する手当や助成制度等の経済的支援の充実	246	26.1%
障がい者に関するスポーツの推進	105	11.2%
障がい者に関する芸術文化活動の推進	71	7.5%
ボランティアの育成や活動への支援	180	19.1%
その他	16	1.7%
わからない	37	3.9%

■ Q11 SDGsについて

ここからは、企画課からお聞きします。

あなたは、SDGs（エスディー・ジーズ）という言葉を知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※SDGs（Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標）とは、「誰一人取り残さない」ことを理念とし、持続可能な社会を実現するため、2030年までに世界が取り組むことが求められている目標です。平成27（2015）年9月の国連サミットで採択された2030アジェンダにおいて定められています。

合計	941	
よく知っている	263	27.9%
少し知っている	480	51.0%
聞いたことがある	152	16.2%
知らない	46	4.9%

■ Q12 SDGsに取り組む企業等の商品について

あなたは、SDGsに取り組む企業や団体の製品・サービスを使用・購入したいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

（例：リサイクル可能な素材で作られている商品、製造やサービス提供の工程が環境や社会に配慮されている商品など）

合計	941	
そう思う	281	29.9%
ややそう思う	463	49.2%
あまり思わない	116	12.3%
まったく思わない	32	3.4%
わからない	49	5.2%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。
All Rights Reserved, Copyright(C)2006.Mie Prefecture